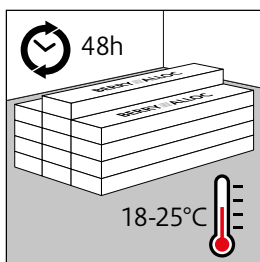


PURE Gluedown 55は家庭用、且つ商業施設(店舗、ホテル)のどちらにも適した製品です。
施工の際は、必ず下記の施工要領に沿って施工を行ってください。

1. PREPARATION



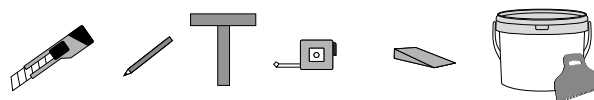
TRANSPORT AND STORAGE

まず平面な床に梱包された商品を置きます。商品は保管する際、必ず高く積み過ぎない様にして下さい(縦に最大5箱まで)。

施工を始める前に、推奨室温(18 - 25°C)で少なくとも48時間の順応時間をとって下さい。この室温を施工中そして少なくとも施工後24時間は、保つようにして下さい。

※保管は必ず室内で行ってください。

道具



カッターナイフ(もしくは鋸)、鉛筆、T字定規、メジャー、スペーサー、接着剤(接着剤用のヘラも)



下地床

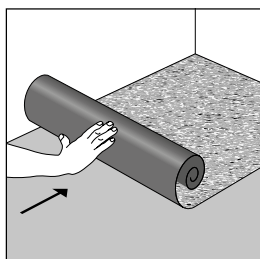
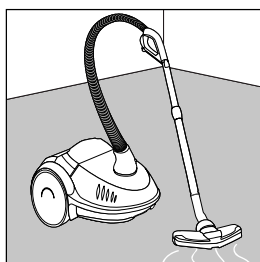
下地準備を入念に行うと、施工後の仕上がりが良くなります。下地が平らではない場所での施工は、商品に床移りが発生したり、凹みが発生する原因となります。

必要に応じ、下地との相性の良い床材を事前に敷き、下地処理を行って下さい。

下地床は必ず湿気や汚れ、凹凸の無い状態にし、漆喰、ペイント、接着剤、油、グリースの跡、繊維製床材(カーペット、ニードルフェルト等)、破片(釘も含む)を取り除き、掃除機を掛けて下さい。

PURE Gluedownはコンクリート、タイル、木床、及び基本的にどのような硬質床材上にも施工する事ができます。

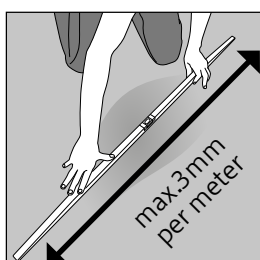
PURE CLICKは水に対して反応しませんが、下地部分は湿気による諸問題が起こる可能性がある為、必ず確認してください。仮に湿気が生じている場合は、十分に乾燥させて下さい。過度の湿気が生じる環境下では、臭いやカビが発生する恐れがあります。

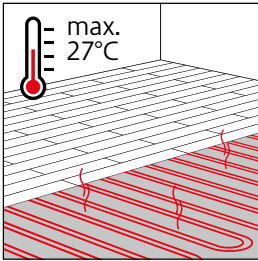


下地床の凹凸が1mあたり最大3mm以上の場合、必ず平らにする為の処理をして下さい。

同様に20cmあたり1mmの凹凸が生じていないかも確認して下さい。

もし施工が可能か少しでも不安のある方は販売店にご連絡下さい。

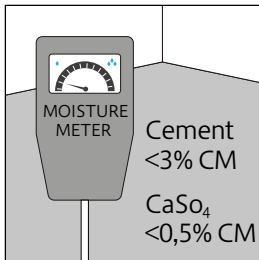




床暖房

PURE CLICKは床暖房(温度が27°C以下)に対応しております。

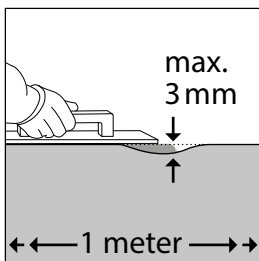
施工前48時間と施工中は必ず床暖房を使用しないで下さい。施工完了から24時間後、1日に5°Cずつ温度を上げ、最終的に27°Cになる様に調節して下さい。電熱線タイプの床暖房をご使用の場合は、60W/m²を超えない事をお勧め致します。



コンクリート／モルタル系下地の場合

新しいコンクリートは十分に乾燥させて下さい。下地の水分含有量は必ず8%以下を維持して下さい。そして室内温度は18~22°Cの間で設定し、床温度は16°Cを下回らないよう管理して下さい。

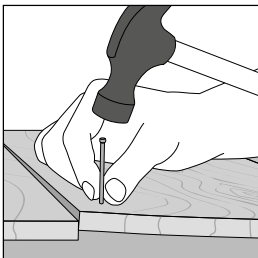
表面の欠陥は、適切な修繕剤を使用し、修復する様にし、且つ下塗り剤が必要か否か確認して下さい。そして掃除機などを使用し、全ての破片やゴミを取り除いて下さい。



硬質タイル上への施工

湿気を起因とする諸問題が生じていないか確認して下さい。

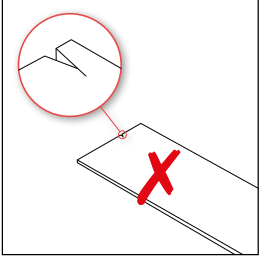
目地の溝が深さ1mm以上の場合、適切な処理を行って下さい。



木床上への施工

湿気が14%以下であるか、また湿気による問題が生じていないか、害虫被害を受けていないか確認して下さい。木床が平らになっており、釘などで床に固定されているか確認して下さい。平らでない場合は、適切な処理を行って下さい。

2. PRECAUTIONS



PURE Gluedownの屋外での使用は推奨しておりません。

長時間直射日光に当たる環境下での保管・使用は避けて下さい。強烈な太陽光、熱、大きな温度変化は製品を劣化させる可能性があります(60℃以下の環境下のみ)。

PURE Gluedownは、室温管理の行える場所での使用に適しております。

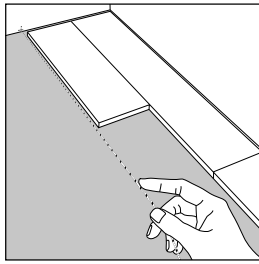
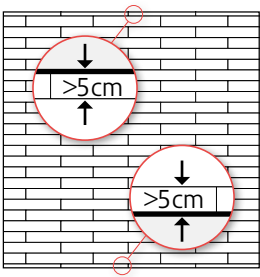
施工前、施工中共に、最適な光の環境下で、全製品に破損が無いか確認して下さい。そしてもし破損があれば、使用しないで下さい。

同箱から使用するのではなく、各ケースの製品が隣り合う様に施工すると、更に自然な風合いを生み出す事ができます。

3. INSTALLATION

再度、全製品に破損が無いか施工前に確認して下さい。

施工は最終段階となります。キッチン棚や暖炉等は、PURE Gluedown上に配置できませんので予めご了承下さい。

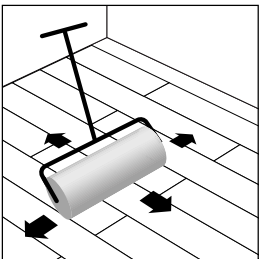
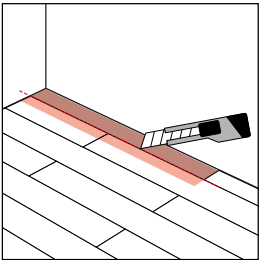
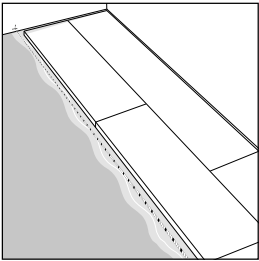


Gluedownは接着剤によつての施工のみ推奨しており、ネジや釘止めなどの方法で施工は決して行わないで下さい。

施工前に、部屋の寸法を測定して下さい。必要であれば、最初の列のパネルを切り、部屋寸法に合う様にして下さい。最初と最後の列の幅が5cmを下回らない様にして下さい。

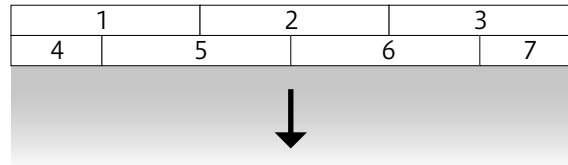
少なくとも最初の2列は接着剤を使用せず仮置きし、施工を始めて下さい。

最初の2列を真っ直ぐに配列しなければ、後の列にズレが生じ、仕上がり が不十分なものになります。時に壁が真っ直ぐではない場合があるので、その場合はひもなどを使用し、可能な限り真っ直ぐに配列する様にして下さい。



カット工程

PURE LVTはカッターナイフで簡単に切る事が出来ます。必ず切断する際は、表面層を上部にし、その面を切る様にして下さい。その際はマーカ―及びカッターナイフを使用して下さい。切断の際は商品が30cm以下にならない様に注意して下さい。



最終列の施工は必ずしも、一枚がすっぽり入る巾とは限りません。したがって最後の列手前にしっかり合わせ、その上に商品を置きます。そしてもう一枚上下逆転させたものを、次は壁に合わせ置きます。重なっている部分にマーカ―でラインを引き、そこを切断すると、最終列の巾に綺麗に納める事ができます。それを繰り返し、最終列の施工を行います。

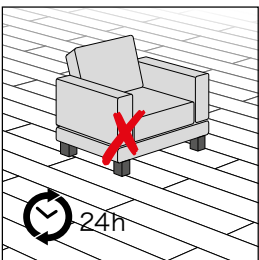
接着工程

仮置きした最初の列の商品を全て取り除き、一列ずつ時間を置き施工して下さい。そして接着剤は推奨品を使用する様にして下さい。接着剤を塗る際は、適切なサイズの小手を使用し、擦り切れのあるものは均等に塗る事が非常に困難です。使用しないで下さい。接着剤のオープンタイム等はメーカーが提示している情報を参考にして下さい。完全に接着させる為に45kg程度のローラーで全方向に荷重をかける必要があります。接着剤の余剰分は、すぐに湿った布等で拭き取る様にして下さい。絶対に洗剤を使用しないで下さい。他の部屋でも同じ手順で施工して下さい。窓際等の温度変化の激しい場所では、それに対応した接着剤を使用する必要があります。もちろん直射日光を遮る事によって温度変化を小さくし、リスクヘッジを行う事ができます。

順応期間

施工後すぐにはまだ接着剤は乾いていないので、必ず室温18~25℃の環境下で24時間誰の手にも触れない状態で順応させて下さい。それまでに家具の移動や人の入室を行わない様にして下さい。

最低でも人の歩行は、施工の4時間後からにして下さい

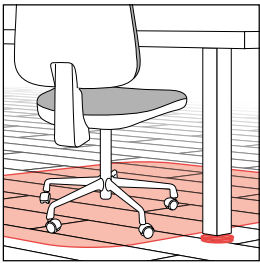


4. FINISHING

PURE CLICK副資材をご使用頂くと、完璧な仕上がりになります。
巾木を直接床に、接着剤やシリコンで接着しないで下さい。

5. MAINTENANCE

今後の修繕も考慮し、残りのプランクを保管して下さい。



DOORMATS

床を最善の状態にしておく為に、全ての入り口に裏地が非ゴム製のドアマットを置く事をお勧め致します。ドアマットを設置する事により、靴底に付着したゴミなどによる床の摩擦を防ぎ、ダメージを軽減する事ができます。“必ず”裏地がゴム製のモノを使用しないで下さい(長期間の使用は、床材にゴム汚染が生じる原因となります)。
キャスターチェア、家具脚部分、運動器具等はゴム製のキャスターでないものを推奨致します(先ほどのダメージを起こさない為)。
家具脚や椅子脚の部分には、柔軟性のある、非ゴム製のカバーをして下さい。

非常に高温のもの(煙草、灰等)がPURE LVTと触れない様にして下さい。傷がとれない可能性があります。

CLEANING

日常の清掃

汚れ・埃をブラシや掃除機で取り除いて下さい。汚れが付着した時は弊社のCLEANERをご使用ください。

床は水気を帯びると、より滑る様になります。したがって水がこぼれたら直ぐにふき取る様にして下さい。
絶対に塩素系の溶剤を使用しないで下さい。そしてワックスやニスで塗装をしないで下さい(油脂が含まれているタイプは避けて下さい)。